

4年

「できた！」がいっぱい！自分で考え、行動する4年生！

〈ねらい〉

本学年の子どもたちは、高学年の仲間入りを果たし、下級生の手本になろうという思いを抱き始めています。そのため、どんなことにも全力で取り組んでいます。しかし一方で、自ら考えて行動することが少なく、指示を聞かないと行動に移すことができない一面も見られます。そこで、今年度は、子ども一人一人が自ら課題をもち、考え、答え（行動）を導き出せるようにしていきたいと考えました。また、答えを導き出すためには、友達のを考え方を知ったり、友達の意見を聞いたりすることも不可欠です。友達の意見も取り入れたり、参考にしたりしながら、自ら進んで行動する子どもたちに育ってほしいと思います。

〈活動の様子〉

1学期に子どもたちは、授業や係活動、委員会活動など様々な活動で「考える」活動を経験しました。総合的な学習の授業では、ICT機器を用いて写真や動画を示しました。「相生山緑地のこと、全く知らなかった。早く見てみたい！」など興味を高めるとともに、子どもたちは現地での質問を沢山考え、意欲的に校外学習に臨みました。

また、別の日には「朝、テレビで流れた委員会の発表を、もう一度みんなと確認したいので時間をください」と担任に提案し、学級全員で学んだことを復習するなど、ICT機器で学んだことを生かし、自ら考え、行動する子どもも見られるようになりました。

取り組みを通して、①ICT機器は子どもたちにとってとても分かりやすく（理解しやすく）してくれる道具であること。②ICT機器を活用し、自ら考え、行動に移していく術を身に付けつつあること。この2点が成果として見られました。後期は、自らICT機器を活用する活動に取り組みます。



【ICT機器を使った授業の様子】



【動画を視聴している様子】